

# にぎわいもじじる。



上田わっしょい



丸子ドドンコ



図 観光シティプロモーション課 ☎23・5408

コロナ禍に見舞われたこの3年間、

さまざまな困難を乗り越え、

今年は祭りのにぎやかな声や音が戻ってきます。

丸子ドドンコ、真田まつり、武石夏祭りなど、

上田市には地域が誇るたくさんの祭りがあります。

今回の特集は、その中でも4年ぶりの市街地開催となる

上田わっしょいにスポットを当て、

祭りに関わる皆さんの想いの一端に迫ります。

## 皆が楽しめる祭り、あなたが主役の祭り。

上田わっしょいの原点は「市民総和楽・総参加」。市民全員が和やかに楽しみ、市民全員が参加する祭り。コロナ禍で人と人とのつながりが希薄になった今こそ、原点に立ち返って、お祭りを楽しみませんか。  
今回、上田わっしょいに関わる皆さんにお話を伺いました。そこで見えてきたのは、立場は違えど熱い祭りへの想いでした。あなたにとっての上田わっしょいは、どんなお祭りですか？



武石夏祭り



真田まつり



**梅原定二さん**  
うめはらさだじ  
下塩尻自治会の夏祭り実行委員会事務局長を務める。今年の上田わっしょいにも下塩尻自治会連として参加予定。

**下** 塩尻自治会の夏祭り実行委員会事務局長を務める梅原定二さん。上田わっしょいと同じ年だとか。

上田わっしょいでは、踊りのコンテストが開催されますが、下塩尻自治会は第48回の正調踊り部門で受賞しています。下塩尻にある踊りのサークルの指導を受けながら、祭りの直前に2日間公民館で踊りの練習をしています。心掛けていることは、「とにかく元氣よく楽しむこと」と笑顔で話します。

近年は上田西高等学校の生徒会と一緒に参加。「積極的に地域活動に関わってくれます。今回もぜひ一緒にお願いしたいという話があり、とてもありがたいです」と梅原

## 地域の人々のつながり

さん。上田わっしょいを通じて、地域の人々のつながりが強まります。上田わっしょいの思い出を伺うと「だいぶ前だけど、小学校の頃は、やっぱり上田わっしょいは楽しかったですね。夏休みに入って、集まるのも楽しみなんですけど、踊っている中で上塩尻や秋和の同級生とかと会うと、すれ違ったときに、わーって喜んだりして、そんな楽しさがありました」と思い出いっぱいの子。最後に梅原さんにとって上田わっしょいとは。「やっぱり上田わっしょいは夏に欠かせない行事。地域の人のつながりを持てる、上田にとっての欠かせない行事だと思っています」

## 普

段はそれぞれの民踊の流派に所属し、別々の活動をしています。上田わっしょいの時はひとつになると話すのは、上田民踊連合会の会長を務める市川久子さん。上田民踊連合会は上田わっしょい創設期から祭りに関わり、伝統の正調踊りを守り続けています。上田わっしょいが誕生してから50年余り。長く活動を続ける秘訣について「ハートのつながり。流派をこえて集まっている先生方はみんな仲が良いです。そこから会員さん同士が連合会としてひとつにまとまりました」と仲の良さが活動の継続につながっていると話します。

## 流派をこえて、ひとつに。お祭りでまちを元気に。

上田わっしょいの参加連から依頼があれば、踊りを教えに行くことも。上田わっしょい創設当初は会員が各地区へ出向き、踊りの指導を行ったといえます。  
最後に市川さんにとって上田わっしょいとは。「上田にぎやかなことがあると市のPRになるし、心ひとつにみんながお祭り気分になるような盛り上がりがないと寂しいかなと思っています。いろんなお客さんから声をかけられたり、踊りながらでもコミュニケーションがとれて、久しぶりに会えて懐かしいねとか声を掛け合う交流も私は大事ななと。だからわっしょいは楽しいです」



**市川久子さん**  
いちかわひさこ  
上田民踊連合会会長を務める。上田わっしょい創設期から正調踊りを守り続けている。踊りの指導を行うことも。

## 上田わっしょいの歴史

昭和47年、旧上田市、旧塩田町の合併時に「市民総和楽」地域の連帯感を図りたいとの想いから創設。「わっしょい」の由来はハヤシコトバといわれています。  
また、祭りにふさわしい上田の若者向けの曲が必要だとして、作詞を伊藤アキラさん、作曲を佐藤勝さん、歌い手をNHKヤング101にそれぞれ依頼。市民なら一度は聴いたことのある歌いだし「山があるから川がある」で始まるあの楽曲が誕生しました。  
第1回の上田わっしょいは昭和47年7月29日に行われ、連として約1万1千人が参加しました。第30回では連続30回参加連を表彰、第40回では打ち上げ花火や記念オリジナルうちわを制作するなど、これまでさまざまな歴史を積み重ね、今では市民総参加の一大イベントとして定着しています。



第1回上田わっしょい



第1回上田わっしょい

## 正調踊りとオリジナル踊り

上田わっしょいの基本となる正調踊り。特徴は最初から最後まで片足が浮いていること。初めての方でも覚えやすいシンプルな踊りです。また、上田わっしょいにはオリジナル踊りの部が設けられていて、個性あふれる踊りが見られるのも大きな魅力です。



民踊連合会による正調踊り



わっしょいくん (上田わっしょい公式キャラクター)



YouTubeでは踊り方動画を公開していますので、ぜひご覧ください



## 7月下旬～8月中旬に市内で開催されるお祭りやイベントを紹介します。(開催日順)

- 「信州上田祇園祭」、「上田わっしょい」、「信州上田大花火大会」「丸子ドドンコ」では交通規制が実施されます。ご迷惑をおかけしますが、皆さんのご理解ご協力をお願いします。
- 交通規制の影響で、まつり当日は大変な混雑が予想されますので、公共交通機関の利用にご協力ください。



夏のイベント一覧



7/22(土)

### 信州上田祇園祭

【場所】上田中心市街地  
 〇 信州上田祇園祭実行委員会 (上田市自治会連合会)  
 ☎22・4130  
 交通規制 17:30~21:30



7/29(土)

### 第52回 上田わっしょい

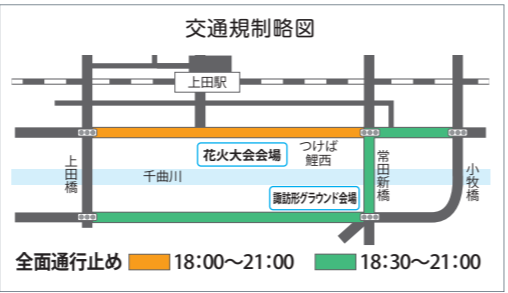
【場所】上田中心市街地  
 〇 上田わっしょい実行委員会 (観光シティプロモーション課)  
 ☎23・5408  
 交通規制 16:00~21:15



8/5(土)

### 第36回 信州上田大花火大会

【場所】千曲川河川敷(常田新橋下流)  
 〇 信州上田大花火大会実行委員会 (上田商工会議所)  
 ☎22・4500



8/5(土)

### 第46回 丸子ドドンコ

【場所】上丸子商店街  
 〇 丸子ドドンコ実行委員会 (丸子産業観光課)  
 ☎42・1048



8/6(日)

### 第39回 真田まつり

【場所】真田運動公園グラウンド  
 〇 真田まつり実行委員会 (真田産業観光課)  
 ☎72・4330



8/6(日)

### 第28回 信州爆水RUN in 依田川

【場所】丸子総合グラウンド、(スタート・ゴール) 内村川、依田川  
 〇 信州爆水RUN in 依田川実行委員会 (丸子総合体育館)  
 ☎43・2250



8/12(土)

### 第42回 武石夏祭り

【場所】武石体育館駐車場  
 〇 武石夏祭り実行委員会 (武石産業観光課)  
 ☎85・2828

**第52回 上田わっしょい**を企画・運営する、実行委員長の野村康太さんにお話を伺いました。

「上田わっしょいは、オリジナルの音楽にあわせて、上田の中心街に多くの市民が集まって、上田わっしょいの掛け声のもと、踊って、みんなで楽しむお祭り。上田青年会議所の先輩方が上田市全体で楽しむお祭りを作りたいと立ち上げました」と野村さん。

自身の子どもの頃の思い出を次のように振り返ります。「私自身は川辺町という自治会で参加させてもらってたんですけど、夜みんなでバスで移動して踊って、帰りにお菓子をもらって当日の楽しかったことを話しながら帰った思い出があります」

実行委員としての一番の



野村康太さん

今年の上田わっしょい実行委員長を務め、企画・運営に携わる。「参加連の募集や交通規制など、来場者全員にとって安全なお祭りとなるよう企画しています」と話す。

表紙は野村さん(左)と上田わっしょい実行委員会担当の橋原大和さん(右)。

## 日本中に知っていただける、もっと大きなお祭りに。



やりがい「当日参加してくれた皆さまが笑顔で楽しんで踊っているのを見られること」と話します。

加えて、「当日に至るまでさまざまな人の協力を得て開催できています。交通規制やタイムスケジュールなど、皆さんの協力なくしてこのお祭りはできません」と感謝の言葉も。

「上田市だけでなく長野県中、日本中、もっとみんなに知っていただいて、もっと大きなお祭りしていきたいです」と今後への想いを語る野村さんにとっての上田わっしょいとは。

「上田市の一番の夏祭り。当日みんなが笑顔になれる最高のお祭りだと思っています」

### 第52回 上田わっしょい タイムスケジュール

時間	対象連	内容
16:00~	みこし連	神輿渡御
18:15~	踊り連 太鼓連	オープニングセレモニー (中央交差点)
18:30~		踊り・演奏 ※途中、小休憩・大休憩あり
20:45~	全ての連	クリーン上田 (ごみ拾い)



最初の15分は全ての連が正調踊りをします

飛び入り連があります。当日参加もOK!



## Clubわっしょいの歩み

上田わっしょいの楽曲を生演奏するバンド「Clubわっしょい」。市民を中心にポーカー、楽器演奏者、音響技術者など総勢40名で活動してきました。

第1回上田わっしょい(昭和47年)に合わせて、市民の森でロックやフォークソングなどの歌の祭典「ヤングフェスティバル」が開催されました。その際、参加していたClubわっしょい初代代表の山崎隆延さんの演奏が当時の青年会議所メンバーの目に留まり、第3回上田わっしょい(昭和49年)から生演奏を行うことに。その後、約半世紀にわたりClubわっしょいは生演奏を続けてきました。近年では、技術指導や音響機材のセッティングなど手厚くサポートできる後継者の目途が立たず、昨年を最後に解散することとなりました。

今年からは、事前に収録した音源で祭りを支えます。



最後の生演奏をするClubわっしょい (2022年7月)